



浄水場の地下にやってきたよ!できたての透明な水、おいしい!でも、ダムからこうやって飲める水になるまで20時間かかるんだって。とっても手間暇かかった水道水なんだ。

うん!おいしい!



ここからこの青い大きな水道管で町に送りだされます。(直径80cm、島根県で一番大きな水道管!)

でもここからがまた大変で、水道管の水はいったん町中にある高台の配水池までポンプを使ってあげられます。高台に水をためて、下の町に流しているんだ。松江は地形の起伏が激しいので、安定した配水の管理が大変なんだって。

さあ、こうして町中に水が通ってきたね。

水道管はボクたちが利用する道路の60cmより深いところに埋められているよ。最近の水道管はくさりにくく、地震にも強いポリエチレン管等が使われています。

蛇口をひねると当たり前のように毎日使える水。でもこの水は、当たり前じゃなく、水をためて、きれいにし、家庭に送るという仕事をしている人たちのおかげなんだ。

松江市上下水道局

問い合わせ：0852-55-4888



配水池には給水スタンドもあって、災害時はここから給水車で水が配られます。



松江の床几(しょうぎ)山に昔の配水池の跡地があります。今は公園になっています。ここからは松江市内がとってもきれいに見えます。100年前に作られたこの配水池は松江の水道の歴史が学べる施設として整えられました。水がとっても身近にある松江。これからも美しい水があることに感謝しながら、学んで、飲んで、洗って、遊んで、使わせていただきます!!

旧床几山配水池 (松江市上乃木1丁目12番11号)
開園時間: 3~5月、9~11月.....9時~17時
6~8月.....9時~18時
12~2月.....9時~16時



松江に生まれて4年!



松江に生まれて4年、このまちの楽しさ、美しさ、あたたかさをボクがご紹介します!

コウちゃんが行く!

~水の都・松江の水道を学ぶ~



海、湖、川、水に恵まれた松江市。豊かな自然に囲まれているけれど、安心して飲める水道水をつくるのはとても大変なことなんだ!今回は松江の水道について取材したよ!

さあ、まずは松江の「水がめ」に来たよ。100年前の大正7年に完成して、山陰地方では初めてのコンクリート製のダム、千本ダムだ。松江市では1日6万トンの水が使われているけど、そのうちの4分の1はここ千本ダムの水だよ。まだ水の色は濁った緑色で飲める水ではないね。



千本ダムの周りは公園になっていて、千本水神社が鎮座しています。「おいしい水をありがとうございます」と水神様にごあいさつ。



ダムに溜まった水は管を通して浄水場にやってきます。ここできれいな水になるんだね。まずは水の中のばい菌や汚れを固めるための薬を入れてかき混ぜるよ。そうすると、汚れが固まりになって見えてきた。この固まりが底に沈んで、濁りのない水にしてから、砂→砂利→石の順にゆっくり水を通して、び生物の働きで飲める水にしていくんだ(緩速(かんそく)ろ過(ろか))。これでやっと井戸水と同じような状態。ここに消毒薬を入れて、安全な水道水になる。